





こども基本法は「こどもまんなか」の社会を目指します。

- みなさんは「こども基本法」という法律を聞いたことはありますか？この法律は、子どもの権利を大切にするために、すべての子どもたちが自分らしく幸せに暮らせるよう、社会全体で取り組むためにつくられました。

もっとくわしく！こども家庭庁のホームページ→



市では「藤沢市子ども・若者共育計画」に取り組めます。

- 藤沢市では、こども基本法の「こどもまんなか」の考え方を大切にして、「藤沢市子ども・若者共育計画」を作りました。2025年度(令和7年度)から2029年度(令和11年度)までの、市の取組の方向性を定めています。
- この計画は、藤沢市のすべての子どもや若者、そしてその家族や、子育てに関わる人たちが対象です。
- この「やさしい版」では、みなさんや家族の人が、利用や参加することができる市内の取組を紹介しています。また、みなさんの声を聴きながら、一緒に取組を見直し、作っていきます。

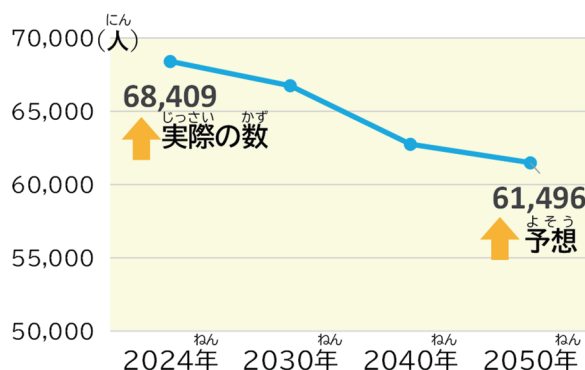




いま ふじさわし つぎ かだい
今の藤沢市には次のような課題があります。

いま しょうしか すす
今より少子化が進みます。

- 2050年(令和32年)の藤沢市は少子化が進み、子どもの数が2024年(令和6年)より約7,000人減ると予想しています。



ほうかご いほしょ た
放課後の居場所が足りていません。

- 子どもがいる家庭で、共働き家庭が増えることで、放課後児童クラブ(学童クラブ)などを使いたいという人も増え、希望しても入れない子どもの数も増加しています。

いろいろ なや かか こ
色々な悩みを抱えた子どもたちがいます。

- 児童虐待の相談件数や、不登校の子ども数が増えています。
- 今の生活に満足していない、生活満足度の低い子どもほど、いろいろな悩みを抱えていることがわかりました。



このような、様々な課題に取り組む、次のような「ふじさわ」を目指しています。





ふじさわし こ わかものともいくけいかく め ざ 藤沢市子ども・若者共育計画が目指すもの

こどもの **え が お** 笑顔 がつながるまち、ふじさわ

こ わかもの ひ と り か の う せ い はぐく
～子ども・若者一人ひとりの可能性を育み、

と の こ ち い き きょうせいしゃかい
だれひとり取り残さない、あたたかい地域共生社会～



ち い き きょうせいしゃかい ち い き さまざま ひ と ちから あ
「地域共生社会」とは、地域の様々な人たちがつながり、力を合わせて、
あんしん く ち い き と も しゃかい
みんなが安心して暮らせる地域を共につくっていく社会のことです。

けいかく すす ぐ あ い はか けいかく しひょう 計画の進み具合を測るものさし「計画の指標」

- こ わかもの せいかつまんぞく ど けいかく しひょう
● 子どもや若者の「生活満足度」を計画の指標の1つとしました。
- ふじさわし こ わかもの いま せいかつ まんぞく
● 藤沢市の子どもや若者に、アンケートで「今の生活に満足しているか」の
しつもん せいかつまんぞく ど はか
質問をして、生活満足度を測ります。



ふじさわし えが お め ざ
藤沢市は「こどもの笑顔がつながるまち」を目指し、
もくひょう ぶん や とりくみ おこな
8つの目標の分野で、さまざまな取組を行います

き ほん もくひょう おんれい こ わかもの とりくみ すいしん
基本目標1 すべての年齢の子ども・若者のための取組の推進

- みんなが、自分らしく元気で幸 せに生活できるように支援を 行います。
ほか さまざま たいけん 他にも様々な体験ができるよう取り組みます。



ぐたいてき とりくみ
具体的な取組

- 安全な妊娠・出産・育児への切れ目のない支援 ■ ブックスタート事業
- 市民センターでの子どもの居場所・体験事業の充実 ■ 青少年施設の充実

き ほん もくひょう と のこ こ わかもの し えん すいしん
基本目標2 だれひとり取り残さない子ども・若者支援の推進

- みんなが安心して、様々な人と暮らしていくことができるように、生活の支援を
おこな 行います。さらに、困りごとがある人からの相談を受けます。

ぐたいてき とりくみ
具体的な取組

- ヤングケアラーへの支援 ■ こども家庭センターの体制整備

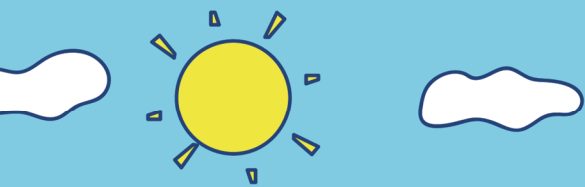
き ほん もくひょう こ う まえ しょうがっこう はい まえ
**基本目標3 子どもが生まれる前から小学校に入る前までの
子どもを育てる人たちや子どもたちへの支援の充実**



- 妊娠をしている人への支援や、小学校に入る前の子どもを保護者が安心して育
てられるような切れ目のない支援を充実させていきます。

ぐたいてき とりくみ
具体的な取組

- 訪問による相談事業 ■ 産前・産後の支援 ■ 子育て支援センター事業の充実



基本目標4 小学生から高校生までの子どもたちへの支援の充実

- 小学生から高校生までの学校生活や放課後を、安全・安心に過ごせるように、校内での支援や、市内の居場所づくりなどを進めていきます。

具体的な取組

- 学校における相談の充実
- 子どもの居場所づくりに向けた取組

基本目標5 若者がなりたい自分になるための支援の充実

- 大人になるまでに、希望する進路や仕事を選べるように支援していきます。自分の将来(仕事や家庭のことなど)のことを考えられるような学びの機会を充実させていきます。

具体的な取組

- 若者世代向けのライフデザインを考えるための取組
- 乳幼児触れ合い体験
- ユースサポート・ユースワークふじさわ



基本目標6 安心して子どもを育てるための支援の充実

- 子育てをする人が、不安や悩みを抱えることなく、子育てができるように、必要なお金の支援をします。子育てと仕事をどちらもできるように、環境づくりに向けた取組を進めていきます。

具体的な取組

- 幼児教育・保育の無償化における保育料の負担軽減
- 働きやすい環境づくりに向けた啓発
- 児童手当の給付

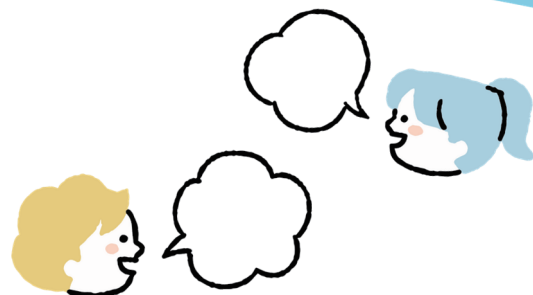


基本目標7 子ども・若者の声を聴き、生かしていく取組の推進

- みんなが伝えてくれた意見で、暮らしやすいまちをつくり、みんなの生活が充実するように、意見の実現に取り組んでいきます。

具体的な取組

- 子どもの意見を聴くための仕組みづくり



基本目標8 子ども・若者を地域みんなで支えるための取組の推進

- 子ども・若者や子育てをしている人が、幸せに暮らしていけるように、地域のみんが支える仕組みづくりを進めていきます。

具体的な取組

- 子育てボランティアの養成 ■ ファミリー・サポート・センター事業
- 地域のみんによる子育て支援ネットワークづくり



令和7年度からの取組

- これからは子ども・若者や子ども・若者に関わるすべての人たちの意見を聴いていく必要があります。
- 子ども・若者からの意見を聴くために、子ども・若者が意見を言いやすくなるような仕組みを作り、地域の子ども・若者がいる団体と協力するなどネットワークづくりに取り組みます。他にも、意見を聴くだけでなく、もらった意見や提案を実現することにも取り組んでいきます。

過去の取組はこちらから



「ふじ さわ し こ藤沢市子ども・わか もの と も若者いく けい かく共育計画な まえ」という名前について

けい かく ここの計画は、子ども・若者であるみなさんが「まんなか」となる社会を目指し、

い けん きみなさんの意見を聴きながら、

こ わかもの そんちょう ふじさわ し つく いく けい かく たんじょう子ども・若者が尊重される藤沢市を作るために誕生しました。

けい かく たいしやう計画の対象は、「こども」はもちろんですが、それだけではなく、

せいじん わかもの たいしやう こ わかもの な まえ成人した若者も対象なので、「子ども・若者」という名前になっています。

とも いく ことば こ ち いき と も そださらに、「共育」という言葉には、すべての子どもは地域で共に育ち、

ち いき と も そだ おも地域で共に育てるという思いがこめられています。

ふじ さわ し こ わか もの と も藤沢市子ども・若者共育計画

ばんやさしい版

ねん れい わ ねん がつ2025年(令和7年)3月

はっこう ふじさわ し こ せいしやうねん ぶ こ そだ き かく か発行:藤沢市子ども青少年部 子育て企画課

ねん れい わ ねん がつ か めい こ そう む か※2025年(令和7年)4月から、課名が子ども総務課となります。

きやうりよく ふじさわ し ちやうき せい協力:藤沢市長期インターンシップ生



ふじキュン♡